



公益社団法人日本技術士会 北海道本部

青年技術士交流委員会 オンライン講演会

『Withコロナ時代における 技術者の働き方とは』

◇日時：2020.9.18(金) 16:00開始

第1部 講演会「サイボウズ社の働き方」

16:00～17:00

第2部 グループワーク 17:05～18:00

グループ
ワーク
先着50名

◇参加方法：オンライン開催（Zoomミーティングを使用予定）

◇対象：技術士会 会員・準会員・北海道本部会友・非会員

◇参加費：無 料

講演会申込
先着100名



◇講師：松川 隆 氏

サイボウズ株式会社

チームワーク総研 シニアコンサルタント

慶應義塾大学法学部卒業後、1996年日本興業銀行（現みずほ）に入行。転職を経て、2012年サイボウズに入社。サイボウズでは人事のマネージャを務め、採用・育成制度づくりなど変革期の組織風土づくりを担った。現在は、人事での経験を活かしチームワーク総研シニアコンサルタントとしてお客さま企業の組織改革に熱く取り組む。中学2年生、小学校5年生、2年生、三人の子育て中。



◇講師：鬼頭 久美子 氏

サイボウズ株式会社チームワーク総研 アドバイザー

京都大学法学部卒業後、株式会社三井住友銀行に入行。企業向け融資と人事を経験。組織づくりと個人のキャリア形成に興味を持ち、国家資格キャリアコンサルタント取得後、サイボウズ株式会社へ転職。現在は、サイボウズチームワーク総研アドバイザーとして組織づくりの取り組みを伝えている。

小学校3年生と年長、息子二人の育て中。

オンライン講演会『Withコロナ時代における技術者の働き方とは』

◆第1部 講演会「これから求められる働き方改革とは」 16:00～17:00（60分）

コロナ禍により、社会全体がリモートワークに移行するなど、働き方が急激に変化しており、コミュニケーション不足による生産性の低下も懸念されています。一方で、育児、介護をしている技術者にとっては、リモートワークのメリットが多い面もあります。今回、リモートワーク、育児・介護休暇取得について先駆的なサイボウズ社から松川講師と鬼頭講師をお招きし、これからのWithコロナ時代において、技術者のより良い働き方について学ぶことを目的とした講演会を行います。

◆第2部 グループワーク

「リモート？リアル？これからの働き方はどうあるべきか」 17:05～18:00（55分）

（※第2部はどなたでもご参加できますが、**先着50名**とさせていただきます。）

第1部の講演会で学んだことを踏まえ、第2部では、ブレイクアウトルーム（グループ分け）機能を使って、6～7人のグループで働き方についての意見交換を行うグループワークを行います。

参加申込方法・お問合せ先

9/14（月）までに、以下の項目を記載のうえ、下記申込先アドレスまでメールでお申込みください。

<記載項目>

- 氏名（ふりがな）、年齢、会社名（役職）・学校名、電話番号・E-mail
- 参加を希望する部（第1部講演会／第2部グループワーク）
※グループワークについては都合により人数制限をさせていただくため、申込先着順といたします。
- 会員区分（会員／準会員／北海道本部会友／非会員）
- 参加人数（1台の端末から複数名参加もOKです）
※なお、zoomミーティングにより実施しますので、PCやスマホをご用意ください。
また、第2部に参加される方はカメラ、マイク等のついた端末をご用意願います。

- ◆ 参加受付後、オンライン（zoomミーティング）へ参加するURL等をお送りします。そのため、下記のメールアドレス(Gmail)が受信できる状態にしておいてください。また、PCやスマホの環境によってはzoomアプリのインストールが必要になる場合があります。

【お問合せ先・参加申込先】

公益社団法人日本技術士会 北海道本部 青年技術士交流委員会

E-mail : seigikyohokkaido@gmail.com

- ◆ 本行事は、公益社団法人日本技術士会北海道本部が発行するCPD対象となっています。

主催



公益社団法人日本技術士会 北海道本部 青年技術士交流委員会

北海道本部の青年技術士交流委員会は、北海道で活躍する行政・民間企業等に勤務する技術士・技術士補等の技術者を中心に組織された団体で、主に45歳以下の若手技術士・技術者を対象に相互の懇親と交流の活性化を目的として活動しています。

協力



公益社団法人日本技術士会 北海道本部 社会活動委員会 技術者のミライ研究委員会

青年技術士交流委員会で実施してきた活動を“切り出す”形で発足した北海道本部の研究委員会です。大学等の理工学系教育現場における支援事業活動を通じて、技術士の知名度向上やミライの技術者を増やす活動、若手技術者が生き生きと働くために必要な環境づくりの研究・実践を行っています。